2022年度　大阪大学・超域イノベーション博士課程プログラム　  
Basicコース履修者選抜試験

受験番号：

氏　　名：

**解答フォーマット**

①解答文は日本語で作成すること。

②フォントは11ptを使用すること。

③冒頭にタイトルを記載すること。

④本文は4000字程度とすること。

⑤行間を調整し、重要部を太字にするなど、可読性に配慮すること。

⑥必要に応じて適宜ページを追加すること（ただし4ページまで）。

⑦必要に応じて図表等を含めてもよい（カラー可）。ただし図表の下部に、自作の図

表の場合にはその旨を明記し、引用の場合には出典を記載すること。

⑧解答作成にふさわしい資料・データ・情報などを各自で収集すること。解答作成に

際して参考としたものは必ず本文中で引用を明示し、その書誌情報・URLなどにつ

いて、文末に参考文献リストを付すこと。参考文献リストは字数制限に含まない

（すなわち、参考文献リスト部分については4ページを超えてもよい）。

⑨本文中の引用・参考文献リストはハーバード方式で作成すること。

（本文中の引用例）

画面構成理論とは～（略）～である（鈴木 2005 p.7）。

（参考文献リスト例）

教育未来創造会議 (2022).『我が国の未来をけん引する大学等と社会の在り方について

（第一次提言）』

https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kyouikumirai/pdf/ikkatsu\_dl.pdf

鈴木克明 (2005). 「教育・学習のモデルと ICT 利用の展望： 教授設計理論の視座か

ら」，『教育システム情報学会誌』，22 (1), 42-53.

吉田晴世 (2008). 『ICT を活用した外国語教育』，東京電機大学出版局．（記載例）

⑩提出されたレポートの内容は剽窃チェックソフトにより、不正行為の有無を確認す

る。剽窃とみなされる事例などについては、レポート審査・⾯接試験詳細に示すの

で、必ず確認すること。

※提出時、青文字部分は削除してください。